下　関　（ — ）

観測開始:1948年11月　所在地:山口県下関市彦島弟子待

（単位：m）

観測年月				1951.12（昭和26年）	1952.4（昭和27年）	1959.9（昭和34年）	1961.1（昭和36年）	1963.12（昭和38年）	1966.1（昭和41年）
取付水準点		1772	標高(m)	6.0437	6.0437	6.0437	6.0437	6.0437	—
距離(km)	0.30	B・M	高低差(m)	-2.9910	-2.9910	-2.9906	-2.9852	-2.9816	—
	0.15	球分体		+0.1470	+0.1470	+0.1470	+0.1467	+0.1444	+0.1530
観測方法				1級水準	1級水準	1級水準	1級水準	1級水準	1級水準
備考									球分体再設

観測年月				1968.3（昭和43年）	1972.11（昭和47年）	1973.11（昭和48年）	1980.11（昭和55年）	1982.12（昭和57年）	1984.9（昭和59年）
取付水準点		1772	標高(m)	6.0437	6.0437	6.0437	—	—	6.0390
距離(km)	0.30	B・M	高低差(m)	-2.9847	-2.9770	-2.9725	—	—	-2.969
	0.15	球分体		+0.1525	+0.1530	+0.1514	0.155	0.156	0.160
観測方法				1級水準	1級水準	1級水準	1級水準	1級水準	1級水準
備考									

観測年月				1992.7（平成4年）	1993.7（平成5年）				
取付水準点		1772	標高(m)	6.0385	験潮場移設				
距離(km)	0.30	B・M	高低差(m)	-2.9693					
	0.15	球分体		+0.1727					
観測方法				1級水準					
備考									

観測年月				1993.7（平成5年）	1996.1（平成8年）	2002.3（平成14年）	2002.4（平成14年）	2002.9（平成14年）	2006.6（平成18年）
取付水準点		1772	標高(m)	2.507	13.1110	—	13.7158	6.1097	—
距離(km)	0.30	B・M	高低差(m)	＊+0.430	-10.6040	—	-10.6040	-3.5106	—
	0.15	球分体			-0.431	-0.4264	-0.4264	-0.4254	-0.4240
観測方法				1級水準	1級水準	1級水準	1級水準	1級水準	2級水準
備考				＊取付水準点はB･M			2000年平均成果に切換	取付水準点は1772	

<table>
<tr><td colspan="4">観 測 年 月</td><td>2008.11
（平成20年）</td><td>2009.1
（平成21年）</td><td>2011.9
（平成23年）</td><td>2012.4
（平成24年）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">取付水準点</td><td>1772</td><td>標高
(m)</td><td>—</td><td>—</td><td>6.1028</td><td rowspan="5">下関検潮所の廃止に伴い移行（井戸は同じものを使用）
1993. 7 移設、
2013.4 廃止（観測は弟子待（九州地整）が引き続き行う）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">距離
(km)</td><td>0.30</td><td rowspan="2">B ・ M</td><td rowspan="3">高低差
(m)</td><td>—</td><td>—</td><td>-3.507</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>0.15</td><td>-0.423</td><td>-0.423</td><td>—</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>球 分 体</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">観 測 方 法</td><td>2級水準</td><td>2級水準</td><td>2級水準</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">備 考</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※平均成果とは地域を一括して、標高改測する作業です。
「2000年度平均成果」と「測地成果2011」については以下のとおり。
https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/suijun-2000seika.html
その他の平均成果（昭和44年度平均成果など）は、総称して旧成果と呼びます。
また、2000年（度なし）成果など略称が使われることがあります。